



メディア リソース グループの設定

メディア リソース管理は、メディア リソース グループとメディア リソース グループ リストによる処理を包含しています。メディア リソース管理にはメディア リソースの管理機構が備わっているので、クラスタ内のすべての Cisco Unified CallManager がメディア リソースを共有できます。メディア リソースは、会議、トランスコーディング、メディア 終 端、Annunciator、および Music On Hold の各サービスを提供します。

メディア リソース グループは、メディア サーバが論理グループを構成するように定義します。必要に応じて、メディア リソース グループを地理上のロケーションやサイトと関連付けることができます。また、サーバの使用方法やサービスのタイプ（ユニキャストまたはマルチキャスト）を制御するためのメディア リソース グループも必要に応じて作成できます。

次のタイプのデバイスを、1つのメディア リソース グループにグループ化することができます。

- 会議ブリッジ (CFB)
- メディア ターミネーション ポイント (MTP)
- Music On Hold サーバ (MOH)
- トランスコーダ (XCODE)
- Annunciator (ANN)

メディア リソース グループを設定するには、次のトピックを参照してください。

- [メディア リソース グループの検索 \(P.59-2\)](#)
- [メディア リソース グループの設定 \(P.59-4\)](#)
- [メディア リソース グループの設定値 \(P.59-5\)](#)
- [メディア リソース グループの削除 \(P.59-7\)](#)
- 『Cisco Unified CallManager システム ガイド』の「メディア リソースの概要」
- 『Cisco Unified CallManager システム ガイド』の「メディア リソース グループおよびメディア リソース グループ リストの設定チェックリスト」

メディア リソース グループの検索

ネットワーク内にはいくつかのメディア リソース グループが存在することがあるので、Cisco Unified CallManager では、固有の条件を指定して、特定のメディア リソース グループを見つけることができます。メディア リソース グループを見つける手順は、次のとおりです。



(注)

Cisco Unified CallManager の管理ページでは、ブラウザセッションでの作業中は、メディア リソース グループの検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、メディア リソース グループの検索設定は保持されます。

手順

ステップ 1 [メディアリソース] > [メディアリソースグループ] の順に選択します。

[メディアリソースグループの検索と一覧表示 (Find and List Media Resource Groups)] ウィンドウが表示されます。2つのドロップダウン リスト ボックスを使用して、メディア リソース グループを検索します。

ステップ 2 最初の [検索対象: メディアリソースグループ、検索条件:] ドロップダウン リスト ボックスから、次の条件のいずれかを選択します。

- [名前]
- [説明]



(注)

このドロップダウン リスト ボックスで選択する条件によって、検索時に生成されるメディア リソース グループ リストのソート方法が決まります。たとえば、[説明] を選択すると、[説明 (Description)] 列が結果リストの左側の列に表示されます。

2 番目の [検索対象: メディアリソースグループ、検索条件:] ドロップダウン リスト ボックスから、次の条件のいずれかを選択します。

- [が次の文字列で始まる]
- [が次の文字列を含む]
- [が次の文字列で終わる]
- [が次の文字列と等しい]
- [が空である]
- [が空ではない]

ステップ 3 必要に応じて適切な検索テキストを指定し、[検索] をクリックします。また、ページごとに表示する項目の数も指定できます。



ヒント

データベースに登録されているメディア リソース グループをすべて検索するには、検索テキストを入力せずに [検索] をクリックします。

検出されたメディア リソース グループのリストが、次の項目別に表示されます。

- [名前 (Name)]
- [説明 (Description)]
- [マルチキャスト (Multicast)]



(注) 該当するメディア リソース グループの横にあるチェックボックスをオンにして、[選択項目の削除] をクリックすると、[メディアリソースグループの検索と一覧表示 (Find and List Media Resource Groups)] ウィンドウから複数のメディア リソース グループを削除できます。ウィンドウ内のメディア リソース グループをすべて削除するには、[すべてを選択] をクリックし、[選択項目の削除] をクリックします。

ステップ 4 レコードのリストから、検索条件と一致するメディアリソースグループ名、説明、または マルチキャスト 設定をクリックします。

選択したメディア リソース グループがウィンドウに表示されます。

追加情報

P.59-8 の「[関連項目](#)」を参照してください。

メディア リソース グループの設定

メディア リソース グループを追加、更新、またはコピーする手順は、次のとおりです。



(注)

メディア リソース グループから最初にリソースを除去しておく場合、またはメディア リソースが入っているメディア リソース グループを削除する場合を除いて、メディア リソース グループに含まれているメディア リソース（たとえば、会議ブリッジ）は、削除できません。

手順

ステップ 1 [メディアリソース] > [メディアリソースグループ] の順に選択します。

[メディアリソースグループの検索と一覧表示 (Find and List Media Resource Groups)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 次のいずれかの作業を行います。

- メディア リソース グループをコピーするには、該当するメディア リソース グループを見つけます (P.59-2 の「メディア リソース グループの検索」を参照)。[\[検索結果 \(Search Results\)\]](#) リストから、コピーするメディア リソース グループに対応する [\[コピー\]](#) アイコンをクリックし、[ステップ 3](#) に進みます。
- 新しいメディア リソース グループを追加するには、[\[新規追加\]](#) ボタンをクリックします。[\[メディアリソースグループの設定 \(Media Resource Group Configuration\)\]](#) ウィンドウが表示されます。[ステップ 3](#) に進みます。
- 既存のメディア リソース グループを更新するには、該当するメディア リソース グループを見つけます (P.59-2 の「メディア リソース グループの検索」を参照)。次に、[ステップ 3](#) に進みます。

ステップ 3 適切な設定値を入力します (表 59-1 を参照)。

ステップ 4 [\[保存\]](#) をクリックします。

メディア リソース グループをコピーする場合は、少なくともメディア リソース グループの名前を変更する必要があります。

メディア リソース グループを追加すると、[\[ステータス \(Status\)\]](#) が、[\[使用可\]](#) から [\[追加に成功しました\]](#) に変わります。これで、メディア リソース グループ リストに、新規のメディア リソース グループが追加されました。

既存のメディア リソース グループを更新すると、[\[ステータス \(Status\)\]](#) が、[\[使用可\]](#) から [\[更新に成功しました\]](#) に変わります。

メディア リソース グループ内のすべてのデバイス (使用可能なリソースと選択済みリソースの両方) をリセットするには、[\[リセット\]](#) ボタンをクリックします。



(注)

デバイスをリセットすると、このメディア リソース グループに関連するデバイスがすべてリセットされます。Cisco Unified CallManager が、影響を受けるゲートウェイ上のアクティブ コールを削除する可能性があります。

追加情報

P.59-8 の「関連項目」を参照してください。


メディア リソース グループの設定値

表 59-1 では、メディア リソース グループの設定に使用される設定値について説明します。関連する手順の詳細については、P.59-8 の「関連項目」を参照してください。

表 59-1 メディア リソース グループの設定値

フィールド	説明
[名前]	これは必須フィールドで、Cisco Unified CallManager がメディア リソース グループを識別するための固有の名前を入力します。この名前には、最長 50 文字まで指定できます。文字、数字、スペース、ダッシュ、ドット（ピリオド）、および下線を指定できます。
[説明]	メディア リソース グループの説明を入力します。この説明には、最長 50 文字を指定できます。説明には、二重引用符 (“ ”)、小なり (<)、大なり (>)、またはパーセント記号 (%) が、含まれていないことを確認してください。
[このグループのデバイス (Devices for this Group)]	この領域は、メディア リソース グループのメディア リソースを定義するのに使用される [使用可能なメディアリソース (Available Media Resources)] と [選択されたメディアリソース (Selected Media Resources)] の 2 つの画面区画から構成されます。
[使用可能なメディアリソース (Available Media Resources)]	<p>メディア リソース グループに対して選択可能なメディア リソースが表示されます。このメディア リソースには、次のメディア リソース タイプが含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 会議ブリッジ (CFB) • メディア ターミネーション ポイント (MTP) • Music On Hold サーバ (MOH) • トランスコーダ (XCODE) • Annunciator (ANN) <p>マルチキャスト用に設定されている Music On Hold サーバには、(MOH) [Multicast] というラベルが付いています。</p> <p>このメディア リソース グループのメディア リソースを追加するには、リストからメディア リソースを選択し、下矢印をクリックします。メディア リソースが追加されると、その名前が、[選択されたメディアリソース (Selected Media Resources)] に移動されます。</p>

表 59-1 メディア リソース グループの設定値 (続き)

フィールド	説明
[選択されたメディアリソース (Selected Media Resources)]	<p>メディア リソース グループに対して選択されたメディア リソースが表示されます。どのメディア リソース グループでも、少なくとも 1 つのメディア リソースを選択する必要があります。</p> <p>メディア リソースを削除 (選択解除) するには、その名前を選択し、上矢印をクリックします。</p>
[MOH オーディオにマルチキャストを使用 (Use Multicast for MOH Audio、最低 1 つのマルチキャスト MOH リソースが使用可能な場合)]	<p>Music On Hold オーディオ用のマルチキャストを使用するには、このチェックボックスをオンにします。マルチキャストを使用するには、[選択されたメディアリソース (Selected Media Resources)] の少なくとも 1 つが、マルチキャスト MOH サーバであることを確認してください。</p> <p> (注) システム管理者は、マルチキャスト オーディオ ソースを設定または作成する責任を負います。</p>

メディア リソース グループの削除

既存のメディア リソース グループを削除する手順は、次のとおりです。

始める前に

メディア リソース グループ リストに割り当てられているメディア リソース グループは、削除できません。メディア リソース グループを使用しているメディア リソース グループ リストを検索するには、[メディアリソースグループの設定 (Media Resource Group Configuration)] ウィンドウの [関連リンク] ドロップダウン リスト ボックスから [依存関係レコード] を選択し、[移動] をクリックします。依存関係レコードがシステムで使用可能になっていない場合、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。依存関係レコードの詳細については、P.A-4 の「依存関係レコードへのアクセス」を参照してください。使用されているメディア リソース グループを削除しようとする、Cisco Unified CallManager はエラー メッセージを表示します。現在使用されているメディア リソース グループを削除する場合は、事前に、次の作業のどちらか一方または両方を実行しておく必要があります。

- 削除するメディア リソース グループを使用しているメディア リソース グループすべてに、別のメディア リソース グループ リストを割り当てる。P.60-4 の「メディア リソース グループ リストの設定」を参照してください。
- 削除するメディア リソース グループを使用しているメディア リソース グループ リストを削除する。P.60-6 の「メディア リソース グループ リストの削除」を参照してください。

手順

ステップ 1 P.59-2 の「メディア リソース グループの検索」の手順を使用して、メディア リソース グループを見つけます。

ステップ 2 一致するレコードのリストから、削除するメディア リソース グループを選択します。

ステップ 3 [削除] ボタンをクリックします。

このメディア リソース グループを完全に削除しようとしていること、およびこの操作は取り消せないことを確認するメッセージが表示されます。

ステップ 4 続行するには、[OK] をクリックします。削除操作を取り消すには、[キャンセル] をクリックします。

選択されたメディア リソース グループが、メディア リソース グループ リストから削除されました。

追加情報

P.59-8 の「関連項目」を参照してください。

関連項目

- [メディア リソース グループの検索 \(P.59-2\)](#)
- [メディア リソース グループの設定 \(P.59-4\)](#)
- [メディア リソース グループの設定値 \(P.59-5\)](#)
- [メディア リソース グループの削除 \(P.59-7\)](#)
- [依存関係レコードへのアクセス \(P.A-4\)](#)
- 『Cisco Unified CallManager システム ガイド』の「メディア リソースの概要」
- 『Cisco Unified CallManager システム ガイド』の「メディア リソース グループおよびメディア リソース グループ リストの設定チェックリスト」

メディア リソース グループ リスト

- [メディア リソース グループ リストの設定 \(P.60-1\)](#)
- [メディア リソース グループ リストの設定 \(P.60-4\)](#)
- [メディア リソース グループ リストの削除 \(P.60-6\)](#)